

月刊島民

中之島

Vol.93 2016 4/1

●iPadサイズ(と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



大阪城の
江戸時代。



ナカノシマ大学

「すごいぞ! 私鉄王国
〈外伝〉その1:京都編」

黒田一樹

申し込み受付中!



大阪城の江戸時代。

大河ドラマ『真田丸』の好評もあって、大阪の歴史に注目が集まっている。
大阪の歴史を語る上で中心となるのは、何と言っても大阪城だろう。
今回は数ある見どころの中から、現在、内部を特別公開中の櫓を中心に解説。
要塞あるいは政治の中核という城本来の性格を浮かび上がらせると、
江戸時代の大坂がどのような場所であったかがわかってくる。

取材・文／大迫 力（本誌） 写真／浜田智則



多聞櫓

特別公開中

「多聞」とは、城郭において石垣の上に造られた長屋のこと。城壁としての機能や、兵士の詰所、武器を納める蔵、または櫓の役割も果たした。大手口に残るこの多聞櫓は1階部分を櫓門とし、その上部を渡櫓、南に折れ曲がった部分を続櫓と呼ぶ。かつては渡櫓の対面（南側）にも「市多聞」と呼ばれる建物があり、コの字形だったことがわかっていて。現存する多聞櫓の中でも最大級のもの。また、現在は大手口にしかないが、江戸時代には京橋口、玉造口などにも多聞櫓があった。



銃眼

鉄砲の銃口を穴に差し、大手門から侵入してきた敵を狙い撃つ。床に近い位置にあり、寝そべて撃つようになっている。

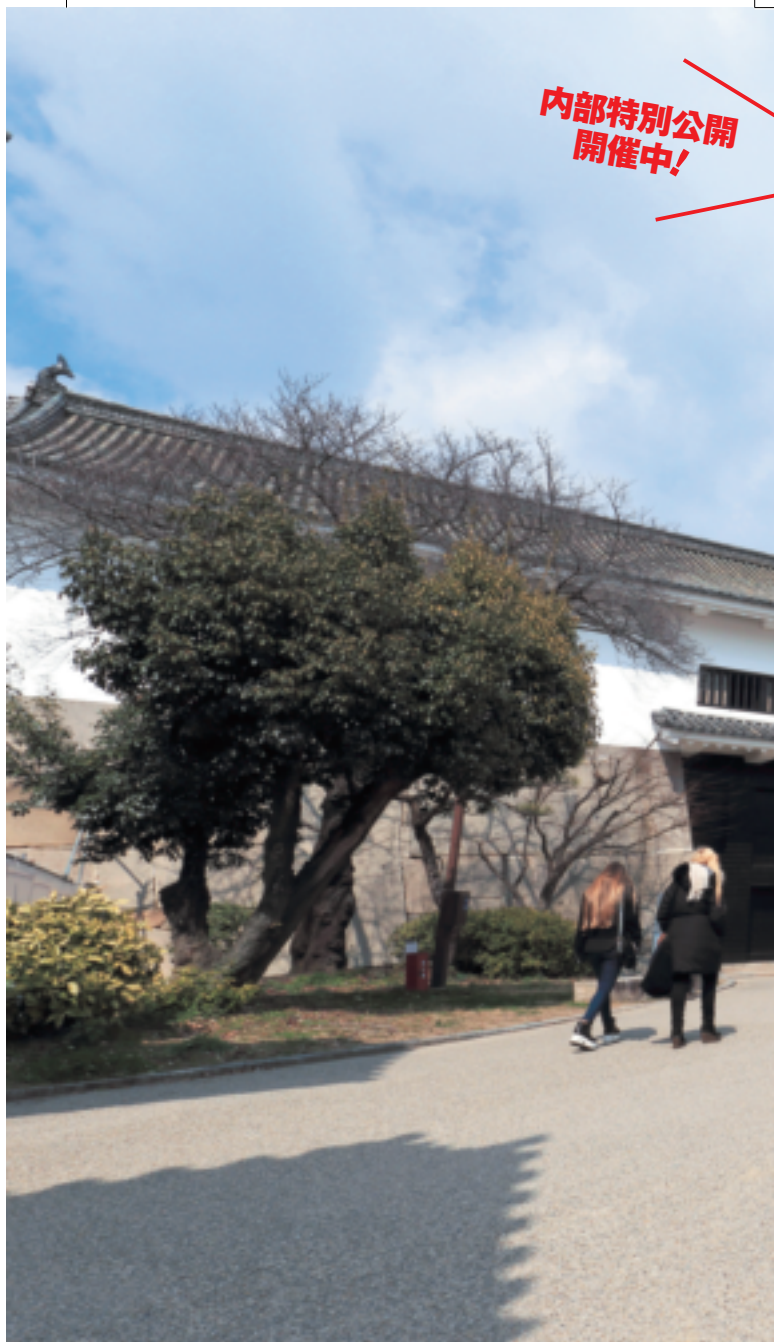


続櫓

木造の建物の外壁であり基礎でもある石組みが内部にも露出しているのが特徴的。石組みには17箇所の銃眼があり、攻撃と防御どちらにも優れた構造。武者走り（廊下）の対面には部屋があり、武器や武具の収納のほか、戦時には兵士が寝泊まりできるようになっていた。かなりの広さがあり、渡櫓と合わせて数百名は収容できた。



内部特別公開
開催中!



宮本裕次さん
(大阪城天守閣 研究副主幹)

専門は日本近世史・地域史。
大阪城の歴史にかかわる多数
の展覧会を担当。徳川時代大
坂城の実態解明にも取り組む。

大阪城ヨリ江戸ヲ望ム

一、多聞櫓の再建と 幕末大坂の緊張感。

大手口の多聞櫓は、大阪城の「正面
玄関」を守る重要な防御施設です。徳

川幕府による大坂城再築工事によって
寛永5年(1628)に建てられまし
たが、天明3年(1783)に落雷に
よって焼失。その後は石垣だけになっ
ていましたが、幕末の嘉永元年(18
48)の総修復工事によって再び櫓が
設けられました。

注意すべきは、再建されたのが幕末
の動乱期だったことです。この頃、列
強による外圧などもあり、幕府の求心
力は急速に低下し始めていました。多
聞櫓の再建は幕府の支配力が弱まって
いたことと無関係ではないでしょう。

大坂城の正面玄関に、大手門はあつ
てもその内側がすっからかんでは話に
なりません。防備という実質的な意味
と同時に、傾きかけている幕府の権威
を取り戻したいという思惑も見え隠れ
しています。幕末の徳川政権にとって
大坂城を守ることは政権を守ることそ
のものだったのです。

慶応元年(1865)、十四代将軍・
徳川家茂は第二次長州戦争のために大
坂入りし、大坂城はいわば前線基地と
なりました。家茂は翌年に本丸御殿で
亡くなるまでここを本拠とし、陣羽織

渡櫓

内部は4室に分かれており、外からは想
像できないほど広々としている。武者窓
の格子は木材を鉄板で補強しており、
ここから大手門の出入りがよく見える。
江戸時代にはこの渡櫓の対面にも建
物があり、櫓形と呼ばれる大手口を入
った場所に敵を閉じこめ、三方から攻撃
できる。武者窓の下には門をくぐるうと
する敵を攻撃する槍落しもある。地面
から櫓門の天井までは約6m、屋根まで
の全高は14.7mに達する巨大な門。
櫓門の扉は鉄板で補強され、いかにも
堅牢。



を着て城内を回っては、兵士たちを鼓
舞しました。変動期にあつては、将軍
自ら勇ましい姿を見せなければならな
かったのです。
徳川家最後の将軍となった慶喜も大
坂を活動の場とし、将軍就任の宴も開
いています。それに参加するため、イ
ギリスやオランダなどの公使が多聞櫓
の下を通っています。堅牢に再建され
た櫓を、外国人たちが馬に乗ったまま
通り過ぎていったというのは、何とも
皮肉と言えるかもしれません。



千貫櫓

せん がん やぐら

特別公開中

大手口を北側から見張り、守るための櫓。西・南側は外堀に面している。大坂の陣からわずか5年後の元和6年（1620）、3期にわたる大坂城再築工事の最初の年に建てられた。本願寺と織田信長による石山合戦で、攻めあぐねた信長方の兵士が「銭千貫文を出しても奪いたい」と語ったことからその名が付いたと言われ、大坂城の最重要拠点の一つ。現存する大坂城の櫓の中で唯一、軒唐破風があることもその格式を物語っている。

千貫櫓の完成は 西国支配の二里塚。

慶長20年（1615）、大坂夏の陣で徳川軍が豊臣家を滅ぼし、江戸幕府は豊臣政権復活の可能性を完全に奪い去りました。そのわずか4年後、二代將軍・徳川秀忠は大坂を天領（直轄地）とし、大坂城の再築工事を命じています。翌年からの3期約10年にわたる工事のうち、千貫櫓は一番最初の年に建てられた建物の一つです。それだけ重要だったと言えるでしょう。

徳川によって建てられた大坂城を、



櫓内部

多聞櫓が石組みを内部に取り込んでいたのに対し、こちらは石垣の上に木造建物をのせる旧来通りの建て方。千貫櫓は大坂城再築の第1期にあたり、多聞櫓（焼失前）の10年ほど前にできた。その間にも築城技術に進歩があったのだ。中央部は倉庫や兵士の居室スペース。平和な時代には、大坂城代が兵士をねぎらう宴を開いたこともあるという。

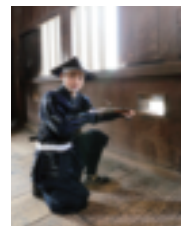


2階も同じ造りで、階段も設けられている。



銃眼

西・南側には銃眼と武者窓がある。多聞櫓とどのように違うか比べると共に、覗いて石垣の高さや堀の大きさを実感してみよう。週末には足軽のいでたち身に包んだガイドスタッフが、火縄銃の模型を使ってどのように構えるのか教えてくれる。また、南側には石垣を登ってこうとする敵に対する石落しもある。



天下統一が果たされた泰平の世の中の象徴のように捉える考えもあるようですが、私はそうは思いません。大坂を直轄地にしたとは言え、支配は始まったばかり。徳川家にとって西日本の諸大名は、まだまだ「仮想敵国」だったはずで、緊張関係は続いていた。つまり、大坂城は仮想敵国に向かって突き出した最前線基地だったと考えるべきなのです。

ですから、大坂の陣に勝利して天下統一がなったのではなく、大坂を手に入れた、ようやく西日本制覇への第一歩を踏み出した。「さあこれから西日本

を完全に統一するぞ」という足がかりに、大坂城を再築したのだと思います。そのため幕府は石垣の規模においても天守の高さにおいても、豊臣時代を凌ぐ城を建てます。これは当然です。

豊臣大坂城より貧相なものができたことあっては、沽券に関わるわけですから。徳川家がわりと自由に本拠地づくりの絵を描けた江戸と違って、大坂にはそれ以前の大きな権力があり、それを乗り越えるための莫大なエネルギーが必要でした。幕府は豊臣家を軍事的に滅亡させた後も、豊臣家の影と戦わなければならなかったのです。

「蛇の目紋」は 恨みの石か？

千貫櫓の東側の櫓台の石垣に、◎のようなマークが。石垣の工事を請け負った大名は、自分が担当したことを示すため石に刻印をほどこすことがあったが、これは「蛇の目紋」と呼ばれる熊本藩加藤家の紋。工事にあたったのは、あの加藤清正の息子・忠広だった。この工事の12年後、加藤家は謀反の心ありと因縁をつけられ取り潰されるのだが…。



三、石垣築造をめぐめる駆け引き。

大阪城には多くの石垣が見られますが、その高さや堀の大きさも含めたスケール感は実に雄大です。

これら石垣や櫓など防御施設の充実度は、江戸城を凌ぎます。また江戸城の石垣が、角など目立つところは別として、大多数が黒っぽい安山岩で積み立てたのに対し、大阪城は築城用の

石材としては最高級の花崗岩を使って白く美しく仕上げられています。江戸時代の大坂城がまさしく戦闘のための要塞であり、なおかつ幕府の力を見せつけるためのものでもあったことが、こうしたことからうかがえます。

美しい石垣が生まれた背景には、西日本で良質の花崗岩が産出されたこと、工事を命じられた西国の大名たちの築城技術が高かったことも関わっています。とりわけ困難な箇所や晴れがまし

い角地の部分は、家の名譽のため、あるいは新たな主君である徳川家に忠節を誓うため、主力大名たちがこぞって志願したと言います。

おもねると言ってしまうばそれまでです。しかし、幕府側も決して内心穏やかではなかったでしょう。千貫櫓のところの石垣を担当した肥後熊本藩などは特に石工たちの技術が高かったと言われます。当時の築城技術は国力と相関すると考えられていたはずですか

四、豊臣・徳川、二つの大坂城。

ら、彼らの実力を目の当たりにして、幕府は「これは侮れない。心してかからなければ」と思ったことでしょう。指導能力を問われないよう肝を据えて命令をする幕府と、従わなければ潰されるという緊張感を持って工事にあたった大名たち。両者のぶつかり合いの中で、大坂城の石垣は高く美しく積み上げられ、いくつもの櫓が建てられていきました。

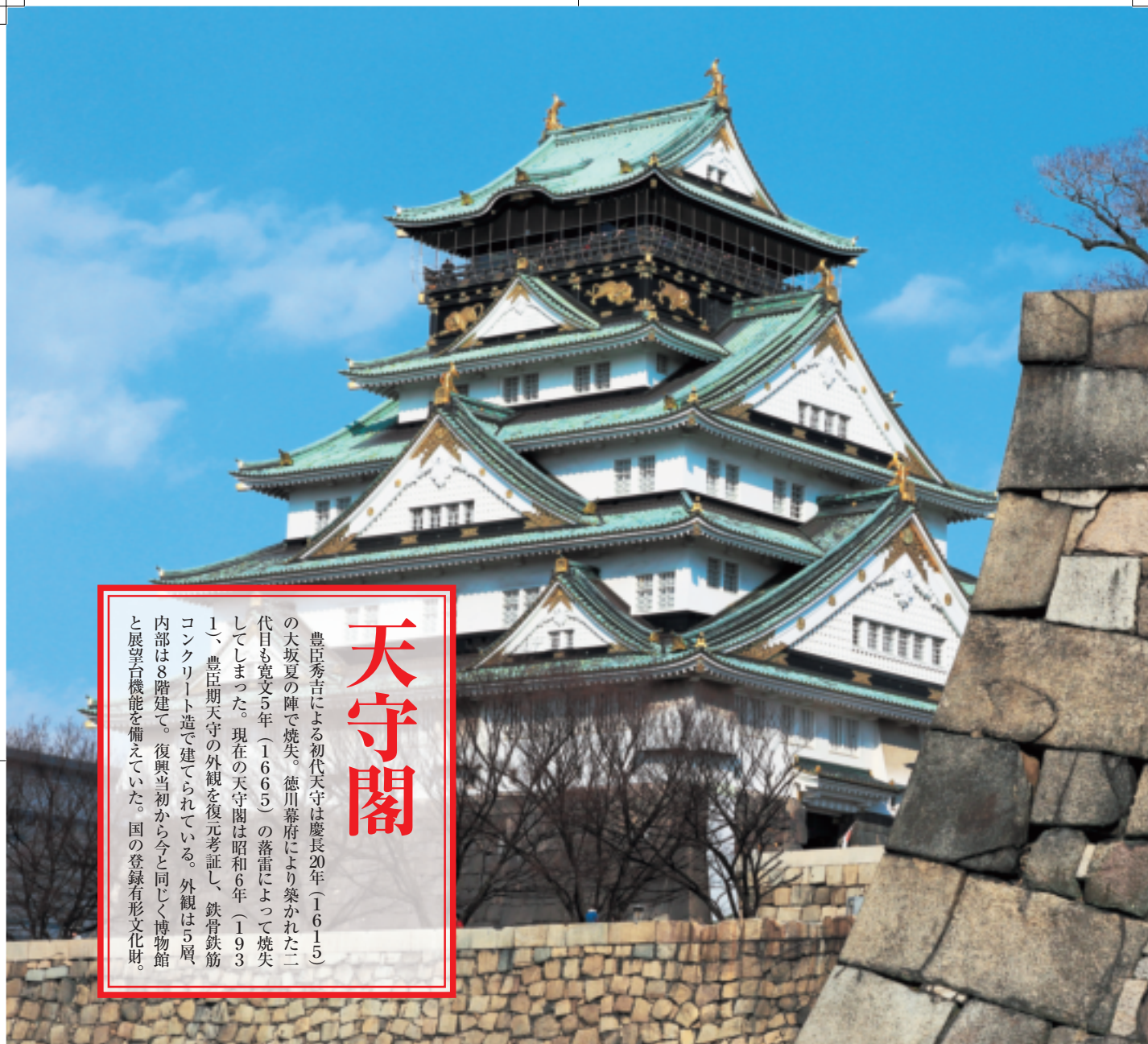
石垣

高く、長い石垣は大阪城の最大の特徴の一つと言える。現存する石垣は、天守台のものも含めてすべて江戸時代に幕府によって建造されたものであることが調査によって明らかになっている。美しく積まれた外堀の石垣や、城内の主要出入口で見られる巨石の数々は、大坂城築城が超弩級の土木工事であったことを物語っている。



特別公開中の二つの櫓を中心に江戸時代の大坂城についてお話してきましたが、政治と極めて密接だったことがよくわかると思います。かたや千貫櫓はこれから支配を強めようという上り調子の緊張感、かたや多聞櫓は危機に瀕し国際化に身じろぎする下り坂の緊張感。今まで江戸の出来事としてしか考えられなかった徳川政権の盛衰のありさまが、実は今の大阪城を見ることでも感じられるのです。

現在、「太閤なにわの夢募金」と称して、初代大坂城の石垣を公開しようというプロジェクトが進んでいます。昭和59年（1984）に行われた発掘調査において、金蔵の東側の地下に豊臣時代の石垣が埋まっていることがわかり、それを再発掘して常時公開しようというものです。これはとてもロマン



天守閣

豊臣秀吉による初代天守は慶長20年（1615）の大坂夏の陣で焼失。徳川幕府により築かれた二代目も寛文5年（1665）の落雷によって焼失してしまった。現在の天守閣は昭和6年（1931）、豊臣期天守の外観を復元考証し、鉄骨鉄筋コンクリート造で建てられている。外観は5層内部は8階建て。復興当初から今と同じく博物館と展望台機能を備えていた。国の登録有形文化財。

徳川



徳川が建てた白漆喰壁・5階地下1階・約58mの天守は、寛文5年（1665）に焼失。その後、「浪華城全図」（上）が描かれた。昭和6年（1931）まで天守が「ない時」が続く。

時代で異なる天守閣の姿。

「大坂冬の陣図屏風（図版は模写）」に見えるのは、豊臣が築いた初代天守。本丸のやや東寄りであり、黒塗壁・6階地下2階・約40mと、現在の天守と印象がずいぶん異なる。

豊臣



シのある話で、豊臣大坂城が本当はどんな姿だったかという気持ちが湧き上がってくる。それと同時に、江戸時代に幕府によって建てられた大坂城への関心も高まることを期待します。

大阪の人たちは、つい豊臣秀吉の時代以外のものは価値がないように考えてしまいがちです。しかし、それでは大阪の歴史が薄っぺらくなってしまふ。なんでも秀吉さんと流されずに、いろいろな時代のものであると知ることから深く豊かな歴史が見えてきます。



えんしょうぐら 焰硝蔵

特別公開中

日本で唯一、総石造りの火薬庫。

焰硝蔵とは鉄砲や大砲用の火薬を保管する蔵のこと。この焰硝蔵は貞享2年（1685）に建てられた。石を積み、瓦を直接のせて、すき間をしっかりと漆喰でふさいでいる。日本では珍しい総石造りの建物で、落雷による引火や半地下式にすることによる多湿を防いでいる。通路の幅は約2m、床に火薬が積まれ、その両側の石壁はそれぞれ厚さが2・4mもある。火薬は置いておけばいいというものではなく、常に新鮮な状態に保っておかなければ役に立たない。保全と利用のどちらもしやすい構造で、幕府が火薬をどのように扱ったかがよくわかる。

櫓と焰硝蔵に入れるチャンス！ 「大阪城の櫓 内部特別公開」。

今回の特集で取り上げた多聞櫓に千貫櫓、そして焰硝蔵。これまでは一年に数日しか公開されてこなかったが、「多くの人に内側から大阪城の魅力を発見してほしい」と今年は半年間の長期公開となり、入場が可能に。実際に櫓の中から外をうかがえば、自分も大河ドラマに出演しているかのような気分になれる。土曜・日曜と祝日は「足軽」が現れ、火縄銃（模型）に触れられる特別イベントもあり。

期間／6月5日（日）まで ※月曜定休
時間／10:00AM～4:30PM
（チケット販売終了3:30PM・最終入場4:00PM）
チケット売り場／西の丸庭園前
入場券／大人700円（天守閣セット券1,200円）

大阪城の「本物」。

いま見ずして、いつ見る？

『真田丸』ゆかりの地としても、今年のうちに足を運んでおきたい大阪城。櫓の特別公開に加え、今だけの「本物」体感型イベントをご紹介します。

取材・文／江口由夏（本誌）

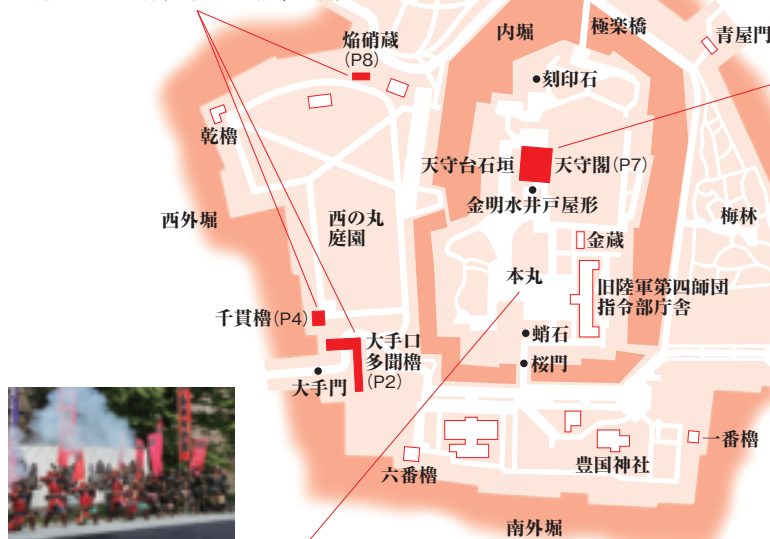
『真田丸』で好感度上昇中？ 天守閣のテーマ展「神君家康」。

「今年は没後400年なので、なにか家康にまつわる展示会をやりたいかったです」と話してくれた学芸員の跡部信さん。監修した「神君家康」展が、大阪城天守閣にて絶賛開催中だ。見どころは、家康の生涯を色鮮やかに描いた貴重な「東照宮縁起絵巻」。随時入れ替えを行う天守閣の展示スペースに登場したことはあるが、五巻合わせて82mにもなる巻物のうち、50m以上が公開されるのは初めて。「徳川家が一流の絵師に描かせた贅沢な装幀なんです。中身は“虚構”も多い。死後は神としてまつられた家康の伝記ですから、関ヶ原の合戦のシーンなど、史実をゆがめて表現された部分があるんです。そのギャップが面白いですよ」。

期間／5月15日（日）まで
時間／9:00AM～5:00PM
※4月10日（日）までは7:00PM、29日（金・祝）～5月8日（日）までは6:00PMまで開館
（最終入館は閉館の30分前まで）
天守閣入館料／600円（中学生以下無料）



東照宮縁起絵巻



春の風物詩もパワーアップ。 「大阪城ファミリーフェスティバル」。

毎年恒例のファミフェス。鉄砲隊による火縄銃演武は迫力があってファンも多いらしいのだが、今年は例年以上に「本物」が登場するのだそう。『真田丸』にちなみ、片桐且元役で出演の俳優・小林隆さんをゲストにお迎えしたトークショーや、大阪城天守閣が制作した『真田幸村ゆかりの地』MAPのイラストを担当された墨絵アーティスト・茂本ヒデキチさんによるLIVEペインティングなど、盛りだくさんです」と広報担当の高岡知子さん。ほかにも、河内國平刀匠による鍛刀実演は、火花が映える夜間に披露されるこだわりようだ。

大河ドラマ『真田丸』の舞台～大阪城ファミリーフェスティバル2016～

◎4月29日（金・祝）

11:00AM～2:00PM～ なぎなた演武（神戸松蔭女子学院大学なぎなた部）

12:00AM～3:00PM～ 墨絵LIVEペインティング（茂本ヒデキチ）

6:00PM～ 鍛刀実演（河内國平）

◎4月30日（土）

11:00AM～4:00PM～ 和太鼓演奏（紀州九度山真田太鼓保存会）

2:00PM～ NHKプレミアムトーク ゲスト・小林隆（『真田丸』片桐且元役）

◎5月1日（日）

11:00AM～2:00PM～ 火縄銃演武（大阪城鉄砲隊）

12:30AM～3:30PM～ 和太鼓コンサート（打打打団 天鼓）

会場／大阪城天守閣前本丸広場（イベント観覧無料）



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

関西私鉄を
もっと楽しもう



◎今月の授業

【鉄道】



写真 / Masa ASANO

2016年5月講座

「すごいぞ! 私鉄王国〈外伝〉その1:京都編」

講師 / 黒田一樹 (中小企業診断士・鉄道愛好家)

大人気鉄道講座シリーズがついに書籍化!
新シリーズもスタートで、
私鉄王国のさらなる深みに迫る。

独自の視点から導いたキーワード、美しいスライドと中毒性の高いトークで「電車に乗る」ことをエンターテインメントに昇華。満員の受講生を熱狂の渦に巻き込んだ「すごいぞ! 鉄道王国・大阪」シリーズが待望の書籍化を果たした。その著者、黒田一樹さんが新刊を引っ提げてナカノシマ大学に復活&新シリーズをスタートする。その名も「すごいぞ! 私鉄王国〈外伝〉」だ。

今回は大阪を飛び出し、エリアを関西に拡大。大手私鉄にこだわらずに範囲を広げ、私鉄王国と呼ばれる関西の鉄道の面白さをさらに掘り下げていく。第1回は京都編。中之島から京阪電車で小一時間、出町柳から乗り換える叡山電車を筆頭に、京福電車など古都をゆく電車にはどんなキーワードが見出せるのか。



黒田一樹(くろだいつき)

本業は中小企業診断士・1級販売士(登録講師)・商業施設士。一方、京阪80形を保存するなど無茶な発想と行動を愛する「鉄道楽者」を自称。著書「乗らずに死ぬるか!」(創元社・2014年)のほか、『ビッグガンガン』誌(スクウェア・エニックス)で連載中の鉄道コミック「銀彩の川」(P13)の監修も務める。

ナカノシマ大学の鉄道講座が
待望の書籍化! 4月22日発売予定。

『すごいぞ! 私鉄王国・関西』

(黒田一樹著 / 1,800円+税 / 140B)

車両、ターミナル、サービス、沿線文化。なぜ関西の大手私鉄5社はそれぞれに個性的なのか? その秘密は長きにわたる競争の歴史にあった。知識・愛・ネットワークの三拍子を兼ね備えた著者が、各社の個性を貫く「キーワード」に沿って電車の乗り方・面白さを解説。ナカノシマ大学の人気シリーズを大幅に加筆&アップデートし、明日から電車に乗るのがもっと楽しくなる1冊。



募集要項	「すごいぞ! 私鉄王国〈外伝〉その1:京都編」 日時 / 2016年5月21日(土) 6:30PM~8:00PM頃(開場6:00PM~) ※講師の都合などにより、変更または中止になる可能性があります。 会場 / 大阪市中央公会堂 小集会室 受講料 / 3,500円(本とセット) 定員 / 100名 主催 / ナカノシマ大学事務局 協力 / 関西・大阪21世紀協会	お名前・ご住所・電話番号・人数・講座名を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。複数名でご参加希望の場合、ハガキ、ファックスについては、人数分の必要事項を明記してください。 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 「ナカノシマ大学5月講座」受付係 FAX.06-4799-1341 ※先着順で受付後、4月20日前後より受講票をお送りします。 ※受講料は講座当日に受付にてお支払いください。※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。※未成年の方のご応募はお断りいたします。※当日のお車ならびに自転車でのご来場はご遠慮ください。
------	--	---

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら!→



お問い合わせ ☎ 06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)

笑う落語の大阪

第二十五回 高島幸次

「その先はどうなるの？」と、気掛かりな終わり方の落語がある。概して、悲劇的な結末より、ハッピーエンドのほうが、その先の展開が気になるようだ。

例えば『たちぎれ線香』の場合なら、相思相愛の一方である小糸が死んでしまうのだから、結末には納得せざるを得ない。

しかし『崇徳院』は違う。高津宮（大阪市中央区）絵馬堂の茶店で、若旦那がある娘を見染め、想いが募って臥せってしまふ。心配した親旦那は熊五郎に娘を探させる。ついに娘の居所を突き止めるのだが、嘶はここで終わり。

このあと若旦那と娘は恋を成就させたのだろうか。それともスキー場ロマンスよろしく、再会後は一気に熱が冷めて破局とはならなかったのだろうか。落語ではなぜそのあたりを描かないのか。そんなことを考えていると、植島啓司先生が紹介されていた話を思い出した。

ある男が高貴な女に告白する。女は「私の部屋の窓下で百日待つてく

れたら、あなたのものになる」と応える。しかし、男は九九九日の夜に窓下から立ち去った。

なかなか奥深い話だ。男にとつて窓下の九九九日こそが恋だったのだろう。若旦那も、熊五郎の報告を待っている日々こそが恋そのものだったに違いない。なるほど、『崇徳院』に後日談は不要なのだ。

そういえば、私も、いや他人に聞

会えない時間が愛育てるのさ。

いた話だが、結婚後よりも、口説き続けていたころのほうが絶対に幸せだった！ いや他人に聞いた話だから、よく知らないのだけれど、そんな話だったような気がする。

むかし、郷ひろみが『よろしく哀愁』で「会えない時間が愛育てるのさ」と唄っていた。あのときは、その意味を理解できなかったけど、

4月天神寄席のゲストはあの「官能教育」(幻冬舎新書)の著者、植島啓司先生です。

たかしまこうじ

大阪大学招聘教授、追手門学院大学客員教授、大阪天満宮文化研究所研究員などを務める。

四月寄席はちよつと色っぽい噺も。

天満天神繁昌亭では、土地を提供している大阪天満宮に敬意を表し、毎月25日の夜席を「天神寄席」と銘打ち、さまざまな企画を開催している。恋の季節らしいテーマの4月は、少し官能的なネタもあり。『突然のキス』恋愛で読み解く日本文学(ちくま文庫)などを著した宗教人類学者の植島啓司先生が、劇中の恋の始まりや成就の過程を分析する。

●4月のお題は恋愛

4月25日(月)

「想い想われ振り振られ」

落語/桂紋四郎「色事根問」

桂三金「デブのお肉に恋してる♡」

桂春雨「お玉牛」

桂団朝「近江八景」

桂九雀「崇徳院」

桂九雀「美しい女を語る」

鼎談「美しい女を語る」

ゲストの植島啓司先生。落語に登場する男女間の割り切れない駆け引きを、多方面から読み解く。

植島啓司(宗教人類学者)

高島幸次(大阪大学招聘教授)

桂春之輔

ナカノシマ大学で前売り券を買うとお得！

「天神寄席」の前売チケットをナカノシマ大学で買うと、23000円で入場できます。いつものナカノシマ大学と同じく、ウエブ、ハガキ、FAXでお申し込みを受付中。

開催日/4月25日(月)

時間/6:30PM(開場6:00PM)/受付開始5:45PM)

受講料/23000円(通常…前売25000円/当日30000円)

支払い方法/当日5:45PMより、繁昌亭前に仮設の「ナカノシマ大学受付」にて精算。

※予定枚数に達し次第、販売終了します。

※ナカノシマ大学で販売するチケットは前売り券のみです。当日券の販売はありません。

●申し込み方法はP9を参照してください。

●問い合わせ ☎06-4799-1340(平日10:00AM~6:00PM)



トリは桂九雀さんのコラムにも登場した「崇徳院」。町人の恋愛劇を描いた大ネタだ。

イラスト/フジワラトモコ

トウニン月報

2016年4月1日発行

130年もの歴史を持つ 造幣局の「桜の通り抜け」



桜の季節といえば、造幣局の「桜の通り抜け」。毎年4月半ばになると、局構内の560mにおよぶ桜並木が開放され、一般の人々も自由に出入りして花見が楽しめるというもの。天満橋に近い南門から桜宮橋側の北門へ通り抜ける

ことから、この名前が付いた。あの五代友厚が尽力した造幣局（当時は造幣寮）の稼働後、明治16年（1883）当時の遠藤謙助局長の一声で、局員にとどまらない「花見のおすそ分け」が始まった。そんな歴史ある行事の日程

は、今年は8日（金）から14日（木）まで。133品種349本がスタンバイしている。これだけ種類があればその違いが気になるのだが、造幣局のHPでは、全品種の特徴と写真を掲載。また「毎年今年の花」が紹介されており、今年は牡丹に似た大輪が美しい、その名も「牡丹」という品種が選ばれている。出かける前にはぜひチェックを。（江口由夏・本誌）

造幣局 桜の通り抜け
期間／4月8日（金）～14日（木）
時間／10:00AM～9:00PM
（土日9:00AM～）
観覧無料
問い合わせ
☎050-5548-8686
（8:00AM～9:00PM）

黒田一樹さん監修 人気鉄道コミック第1巻発売

『ビッグガンガン』誌で好評連載中の鉄道コミック『銀彩の川』。関東を走る架空の鉄道会社を舞台に、主人公の運転士・芹沢千草をはじめとする鉄道マンたちが奮闘する群像劇。知られざる鉄道会社の舞台裏を知る面白さだけでなく、美しく細部まで描き込まれた

電車や駅の描写も人気だ。よもやまあこまで凝った絵を、と想っていたら、監修はナカノシマ大学でもおなじみの黒田一樹さん（P9）だった。黒田さんは監修だけでなく、『ビッグガンガン』



『銀彩の川』第1巻
（原作：萱島のぞみ、作画：倉田壺、監修：黒田一樹／スクウェア・エニックス／571円＋税）
関東を走る東風鉄道で念願の指導車掌となった主人公の芹沢千草。後進の育成に邁進しようとした矢先、担当になった見習い生・榛葉貴之が指導車掌の交代を申し出る。マンツーマンの現場教育により指導車掌と見習い生は、「師匠と弟子」と呼ばれているが、果たして芹沢は榛葉とどう向き合っていくのか…。

誌に「東風月報」という鉄道会社コラムを執筆している。そのコラムも読める特設ウェブサイトでは、なんとマンガに登場する電車3000系の動画が見られる（大迫力・本誌）
ほか、大充実の内容だ。先日、『銀彩の川』の単行本第1巻が発売になったばかり。「乗りたくない」鉄道マンガのゆくえに期待しよう。



「食のお祭り」が 今年ははたなるまちだ！

昨年、大阪城ホールに関西の人気レストランが集結したグルメイベント「フードソニック」。今年は中之島のウェストサイド・はたなるまちが会場となり、ゴールデンウィーク中の3日間にあわせて開催される。エリアにあるABC朝日放送のウッドデッキや堂島リバーフォーラムなどに特設屋台が出て、来場者が好きなものを気軽にオーダーでき、その場で味わえる仕組みだ。

FOOD SONIC 2016 in はたなるまち
期間／5月3日（火・祝）～5日（木・祝）
時間／10:00AM～6:00PM（L.O.5:30PM）
会場／はたなるまち（ABC朝日放送・堂島リバーフォーラム周辺）
問い合わせ☎0570-200-888（キョードーインフォメーション）
本誌）

して、最近はある食材を専門に扱ったり、あえて路地裏に出店したり、二軒目に使えるお酒に特化したお店が目に見えて増えてきたのだそう。飲食店の激戦区と言われる福島が近いこともあり、ABCの番組スタッフや芸能人御用達の店なども多い。当日はそういった顔ぶれのほか、飲食店情報サイト「食べログ」で評価が高いレストランも堂々登場の充実ぶりだ。（江口由夏・本誌）

大阪・京都文化講座 「京都・大阪の『祭礼』再考

—その祝祭的・非日常的イベントはどのように変貌をとげてきたか—

コーディネーター／藤巻正己(立命館大学文学部・教授)、和田章男(大阪大学大学院文学研究科・教授)
共催／大阪大学大学院文学研究科、大阪大学21世紀懐徳堂、立命館大学文学部



あなたの知的好奇心を専門家がバックアップ！
立命館大阪梅田キャンパス公開講座
各分野の専門家を講師に迎えた20の講座がスタンバイ。
学び続けたい社会人の方にも是非参加してほしい、4月からの時間割です。
ただいま、新規受講生を募集中。

5 6/13(月) 「京都西之京の天神信仰 —ずいき祭の歴史をめぐる—」 みえた 三枝暁子(東京大学大学院人文社会系研究科・准教授) 毎年秋の「ずいき祭」に欠かせぬ野菜神輿(ずいきみこし)と、 平安時代に始まる天神信仰の関係を探る。	1 5/16(月) 「平安京の 祭礼と人びとの自然観」 片平博文(立命館大学文学部・特任教授) 神社の祭礼日と天変地異による災厄との密接な関係について、 京に生きた人びとの「視線」から分析。
6 6/20(月) 「だんじりや太鼓台の 都市祭礼からみる大阪の文化圏」 吉村旭輝(和歌山大学紀州経済史文化研究所・特任准教授) 近世都市祭礼から生まれた囃子屋台や太鼓台の分布から、 摂津・河内・和泉各地の特徴と共通性を明らかにする。	2 5/23(月) 「演劇と祭礼 —日本芸能史の源流をめぐる諸説再考—」 中尾薫(大阪大学大学院文学研究科・准教授) 日本芸能史における演劇の起源を、神を祀る祭祀や呪術行 為との関係性を手がかりに明らかにしていく。
7 6/27(月) 「旅する(travelling)祭り —高知、札幌から京都、大阪へ—」 遠藤英樹(立命館大学文学部・教授) 高知市で始まった「よさこい祭り」は、今や全国で行われている。 祭りはいかなる地域アイデンティティをもたらすのか。	3 5/30(月) 「祇園祭はいかにして京都を 代表する祭りになったのか」 中本大(立命館大学文学部・教授) 京都の夏を彩る祇園祭は、いかにして京都を代表する祭礼に なり得たのか。祇園社の創建から辿る。
8 7/4(月) 「地蔵盆と子供たち」 川村邦光(大阪大学・名誉教授) 少子化の現在、地域のコミュニティを維持・存続させるうえで 大きな意義を持つ地蔵盆について考える。	4 6/6(月) 「神楽舞の魅力」 古後奈緒子(大阪大学大学院文学研究科・助教) 芸術との接触を通して見えてくる神楽舞の魅力を、京阪神で 見られる「浪速神楽」を中心に考察する。

受講料:1回1,500円(7回以上一括申込の場合、10,000円)
※誌面の都合上、講座概要については一部省略し、掲載しております。



地下鉄谷町線東梅田駅から徒歩1分／地下鉄御堂筋線梅田駅・
阪神梅田駅から徒歩3分／JR大阪駅・阪急梅田駅から徒歩5分

会場／大阪富国生命ビル5階 立命館大阪梅田キャンパス
(〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4)

時間／各回とも2:00PM～3:40PM

定員／各回130名【先着順】※事前申込

●お申込み方法

下記お問合せ先へ「受講申込書」をご請求ください。

●お問合わせ先

立命館大阪梅田キャンパス(大阪富国生命ビル14階)公開講座事務局

TEL.06-6360-4895(平日9:00AM～5:30PM、土日祝休)

FAX.06-6360-4894 E-mail.osaka-kz@st.ritsumei.ac.jp

●詳しい講座内容については、ホームページをご覧ください。

「受講申込書」は、下記URLからもダウンロードできます。

<http://www.ritsumei.ac.jp/osakaumedacampus/>

立命館大阪梅田キャンパス

検索

富国生命ビル
5階へ!

上方講師・旭堂南海の シモノネタ 番外編



旭堂南海、「難波戦記」全40話 続き読み音源を発売す。

大河ドラマの放送開始に先駆けて、旭堂南海さんによる「難波戦記」が、全40巻のCDとなっていた。収録された「難波戦記」は、40話で完結して一つの物語となる「続き読み」。これは江戸時代では一般的だった口演スタイル。話が盛り上がってきたところで「この話はまた明日に」と講師が締めくくり、お客さんは続きが気になるために毎日講師のものと通ったそう。南海さんは1997年から続けている自身の講演

会でも、その伝統を大事にしている。「音源化のきっかけは、私の師匠、三代目・旭堂南海の姪にあたる石津史子さんからの声がけ。ご主人が目を悪くされ、個人で楽しむ朗読CDをつくりたいというお話でした。南海さんいわく、視覚的な落語や浄瑠璃と違い、講談は耳で味わって十分に楽しめるもの。だがこれまで、明瞭な音源は残されてこなかった。2014年秋からスタジオ入りした南海さんは、一年かけて40話

を収録。「これだけの作品を個人だけで楽しむのはもったいない」と、石津さんが製音品化した。通常は一席30分ほどの講談が1話60分を超えるほどの大ボリュームで、「ここぞとばかりに、現代ではあまり口演されていない筋や、新たに資料から得たネタも入れました」と南海さん。史実だけではなく物語性を見つけたように「口演する講談を通して、大坂城にまつわる「本物」を知るのも面白い。



開けてみると、1巻ごとに異なるブックレットが封入されている。各話のあらすじと、南海さんのブチコロム「南海メモ」が読みどころ。

すでに販売されているのは、大坂の陣が起るまでの第1話～10話、冬の陣が開戦した第11話～20話。今後はこの4月20日(水)に第21話～30話、7月7日(木)に第31話～40話(完結)が販売予定だ。各1話につき1,500円で、1話ずつの購入も可能。各話の詳細や購入方法は、☎06-4790-2557 <http://welovekoudan.com>(上方講談*私設応援隊)まで。



2016年度 立命館大阪プロムナードセミナー 「木津川計の一人語り劇場」



木津川計
(『上方芸能』発行人／元立命館大学教授)
芝居や映画の名作を語って10年。ただ語るだけならその作品を観た方がいいに決まっています。なぜ語るのかは新たな視点で眺めればこそ浮かび上がる作品像だからです。名作を今日的に評価するため「木津川計の一人語り劇場」は誕生したのです。教室のステージで実際に語ります。

- 1 4/22(金) 「『番町皿屋敷』異聞」
- 2 6/24(金) 「私は貝になりたい」
- 3 8/26(金) 「『曾根崎心中』以後」
- 4 10/28(金) 「菊池寛と語り文化の可能性」
- 5 12/9(金) 「屋上の狂人」
- 6 2017年 2/24(金) 「『生きる』これから」

受講料:1回1,500円(全6回一括申込の場合、7,500円)

「安斎育郎が語る、 俳句・俳人とその時代」



安斎育郎
(立命館大学名誉教授／安斎科学・平和事務所(ASAP)所長／立命館大学国際平和ミュージアム・名誉館長)

「原爆忌全国俳句大会」の実行委員長もお務めの安斎育郎先生。「俳句」という言葉が正岡子規によって提起されたのは、芭蕉の死後200年程を経た日清戦争のころでしたが、安斎先生は「俳句・俳人」を平和や核問題の視点からも論じたいという意欲をお持ちです。

- 1 5/10(火) 「松尾芭蕉・与謝蕪村・小林一茶」
- 2 7/12(火) 「正岡子規・高浜虚子・飯田蛇笏」
- 3 9/13(火) 「河東碧梧桐・種田山頭火・尾崎放哉」
- 4 11/8(火) 「片山桃史・西東三鬼・渡辺白泉」
- 5 2017年 1/17(火) 「金子兜太・山本素竹」
- 6 2017年 3/14(火) 50回目を迎える原爆忌全国俳句大会

受講料:1回1,500円(全6回一括申込の場合、7,500円)

平日のランチタイムには企業の人々が、フェスティバルホールの公演後にはマダムたちが、にぎやかにテーブルを囲む。金属製の箸やスプーンでキムチやスープを口に運んでいるのだが、皆の顔は一样に涼しげだ。それもそのはず、この韓国レストランの料理は、やっぱり辛さに定評がある。また、「午後に会議があってもおいが気にならない」とは、この界隈で働く常連さんのコメントである。「企業秘密ですよ」と笑いつつ、営業本部長の黄命相さんは支持される秘訣をあつさり教えてくれた。韓国料理に大切なのは、塩と唐辛

ひとすくいに表れる 韓国家庭の味わい。

【妻家房】 ●韓国料理



子。この2つを始め、味の決め手になる素材はすべて韓国から直輸入しているのだ。
まずは塩。海の隣にあるコムソ塩田では、昔ながらの天日塩が作られている。味見させてもらったその粗塩は、マイルドなしょっぱさ。「妻家房」ではこの塩を炒めて使うことで、食材の旨みをさらに引き出すことに成功している。

「妻家房」が送り出す料理は、一般的な韓国の家庭料理ばかり。気取らないレシピは、1993年に東京で創業した当時から受け継がれている。その頃はレストランスタイルの韓国料理店は珍しく、苦勞もあつたそうだが、こたわりをくずしたことは決してなかった。調味料は料理に溶け込み、厨房の中もお客さんからは見えないが、だからこそ料理人の誠意がひとすくいの料理に表れる。



手前より、唐辛子入りスープでやわらかい豆腐を煮込んだスンドゥブチゲ。セットメニューでのみ味わえる。ランチタイムにはカクテキ(大根のキムチ)とサラダの食べ放題が付く嬉しいサービスもあり。ほか、バリバリしたパチヂミ(820円)や、さっぱりした味わいのキムチ盛り合わせ(650円)なども人気。

そして唐辛子。一年を通して欠かせない食材だが、天候不順による欠品を防ぐため、旌善(チョンソン)・榮州(ヨンジユ)・東大門(トンドアムン)の3ヶ所から調達。「産地によって辛い甘いなど、唐辛子にも違いがあります。3種類をすりつぶして混ぜ合わせ、小まめに味見することで「妻家房」の味に合わせていくんです」。料理によっては、唐辛子に野菜やニンニクの旨みを移した油をかけ、香ばしくしたものを使用する。やっぱりかな辛さは、こうした調味料と食材を、調理の早い段階でなじませることで生まれる。

祝 祭 へ よ う こ そ 。

FESTIVAL
PLAZA

<http://festivalplaza.jp/>
提供/株式会社 朝日ビルディング



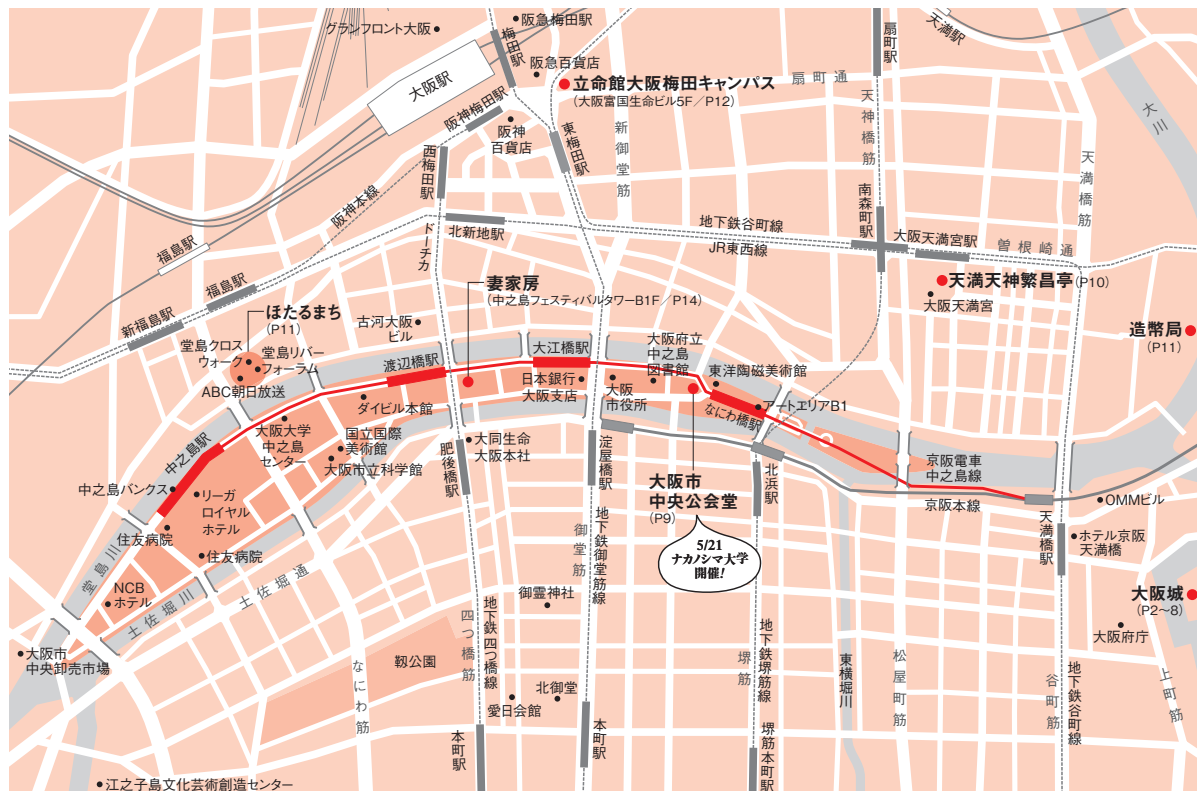
さいかぼう
妻家房

●中之島フェスティバルタワーB1F

定番のチヂミやスンドゥブチゲと一緒に味わいたいなら、ボリューム満点のセットメニューがおすすめ。ご飯や白菜キムチもついて1,580円。ほか、人気の石焼きビビンバセット930円もあり。黄さんいわく「ビビンバに乗っている野菜ナムルを、季節によって菜の花やナスに変えるアイデアもあります」とのこと。☎06-6226-0108 11:00AM~10:00PM(ランチタイム~3:00PM)

大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



『月刊島民』はここでもらえます。

- 京阪電車関連 京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋
- 大阪市北区・中央区・福島区 【書店】旭屋書店 梅田地下街店/紀伊國屋書店 梅田本店/グランフロント大阪店・本町店/ジュンク堂書店 大阪本店/梅田ヒルトンプラザ店/天満橋店/MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/文教堂書店 淀屋橋店/隆祥館書店 【公共施設・大学関連施設など】アリスボット/朝日カルチャーセンター/味の素 食のライブラリー/ABC朝日放送/大阪企業家ミュージアム/大阪倶楽部/大阪工業技術専門学校/大阪国際会議場/大阪市中央公会堂/大阪市立科学館/大阪市立総合生涯学習センター/大阪市役所市民情報プラザ/大阪城天守閣/大阪商工会議所/大阪大学中之島センター/大阪21世紀協会/大阪府中之島図書館/大阪ボランティア協会/大阪歴史博物館/追手門学院 大阪城スクエア/大阪梅田サテライト/川の駅はちけんや/関西学院大学 大阪梅田キャンパス/慶應大阪シティキャンパス/国立国際美術館/CITY NAIL'Sインターナショナルスクール/芝川ビル/市立住まい情報センター/少彦神社/中央電気倶楽部/ホテルNCB/メビック扇町/立命館大阪オフィス/龍谷大学大阪梅田キャンパス 【店舗・医院など】アンドール 本町本店/上町貸自転車/Ultra 2nd/江戸前餃子理 志津可/天満橋鍼灸整骨院/MJB珈琲店/エルマーズグリーン コーヒーカウンター/大西洋服店/OOO(オー)/カセット/喫茶カンターロ/喫茶SAWA/グランドコート中之島/黒門さかえ/コモンカフェ/The Court/サトウ花店 中之島本店/ザ・メロディ/シアトルベストコーヒー新聞ビル店/じろう亭/Girond's JR/心斎橋山田兄弟歯科/住友病院/セブンイレブン大阪証券取引所店/タビエスタイル/たまがわ鍼灸整骨院/東郷歯科医院/NAKAGAWA1948 淀屋橋店/ナンジャノ/バスターレー/花かつ/BAR THE TIME 天神/平岡珈琲店/ビルマニアカフェ/FOLK/フレイムハウス/ミニジロー/宮崎歯科/やきとりばかや/吉田理容所/LES LESTON
- 大阪市内その他 【書店】紀伊國屋書店 京橋店/ジュンク堂書店 難波店/福島書店/柳々堂/ループル書店 【店舗・医院など】あじさい/アートアンドクラフト/欧風食堂 ミリパール/大阪シティ信用金庫 江戸堀支店/御府かもめ/Calo Bookshop and cafe/写真とプリント社/鳥かごキッチン/ネイルサロン スワナ/バルビコ/ホテル64オオサカ/MANGUEIRA/Loop A
- 大阪府下 旭屋書店 京阪守口店/学運堂/Books 呼文堂/水嶋書房 くずはモール店/大阪狭山市立図書館/大阪市立難波市民学習センター/大阪大学企画広報・社会学連携事務室/大阪大学 21世紀懐徳堂/大阪大学本部/摂南大学 地域連携センター/野村呼文堂/郵政考古学会/ゆつたりんこ/連携考房 童子
- 大阪府以外 ジュンク堂書店 西宮店/恵文社 一乗寺店/水嶋書房 丹波橋店/伊丹市文化振興財団/川のほとりの美術館/納屋工房/タバーン・シンボゾン/百練/奈良県立図書館情報館
- 東京 往来堂書店(千駄木)/BOOKSルーエ(吉祥寺)/B&B(下北沢)/隣町珈琲(荏原中延)/ONLY FREE PAPER(渋谷)

◎バックナンバーお譲りします。

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしています。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

◎定期購読も受け付け中です。

毎月確実に読みたい方は、ぜひお申し込みください。まずは下記の電話番号までお問い合わせ下さい。

次号予告 ナカノシマ新時代。

図書館や美術館のリニューアルに、新ビルの建設、進行中の新計画。
いつにも増してニュースだらけの中之島から最新情報をお届けする。

●『月刊島民』vol.94は2016年5月1日発行です！

編集・発行人/江 弘毅(編集集団140B)

編集・発行/月刊島民プレス

若狭健作 網本武雄(株式会社 地域環境計画研究所)

松本 創 江口由夏 大迫 力(編集集団140B)

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階

Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341

制作進行/堀西 賢(ALEGRESOL)

デザイン/山崎慎太郎

表紙イラスト/奈路道程

印刷/佐川印刷株式会社

宇治茶 × おけいはん

UJICHA OKEIHAN



お茶を待つ時間も、味わいです。

なるほど、達人。

【今回の達人】中村 藤吉
宇治の地で約160年つづく茶商
「中村藤吉本店」の六代目。
お茶スイーツやカフェで
新たな宇治茶人気を創出。

中村藤吉本店 / 出町柳 けい子

いい香りに誘われて、宇治の駅からお茶の老舗へ。

出会ったのは、宇治茶の魅力を引きだす達人、中村 藤吉さん。

お茶スイーツからお茶の挽き方、おすすめ店まで、
宇治の街ごとお茶を楽しむ心得を教わりました。

くわしくはwebマガジンを見てくださいね。

めざせ！ 沿線の達人

web マガジン《宇治茶編》公開中！ >>> www.okeihan.net  
京阪電車主要駅のチラシもご覧ください。



京阪の
おけいはん。
人。